

区民と区長のタウンミーティング（2022年10月11日開催）

テーマ：文化・芸術の振興

●主な意見一覧

子どもたちの文化・芸術振興

文化芸術団体に対して支援をするにあたっては、各団体へ個別に金銭的な支援を行うより、「子ども達に対する文化芸術支援」としたほうが良いのではないかと

小中学校を巻き込んだ文化芸術活動を支援すると、広く子どもたちにとって平等な支援になると思う。また、自分たちとしても、子どもたちと関わる機会が増えることで、演劇に対する気づきが得られ、双方にとって相乗効果が生まれると考える。

芸術のジャンルを問わず、年々若い世代の観客が減少しているように感じる。子どもたちが芸術鑑賞教室以外にも芸術に触れる機会を増やすことや、地域でのイベント開催を増やすことで、芸術の振興をしてほしい。

地域における芸術振興

ふるさと納税の返礼品として、演劇のチケットを作ることが考えられる。また、単一の演劇ではなく、「アートチケット」として地域の文化芸術に幅広く使えるものである方が、より波及効果が生まれやすいと思う。

介助が必要な方は、文化芸術のイベントで介助者分のチケット購入が必要だが、団体や主催者によっては、費用を免除してくれるケースがある。全ての区民が中野の文化・芸術施設やイベントに行きやすくなるよう、金銭的な補助や情報発信、建物のバリアフリー化をサポートするなど、配慮をしてほしい。

文化・芸術振興に係る全般

なかのZEROのプラネタリウムはなくさないでほしい。